

「秩父別町水道事業経営戦略」概要版

1. 「経営戦略」策定の目的

- ① 経営戦略は、水道事業が将来にわたって事業を継続していくための基本計画です。
- ② 中長期的な視点で経営基盤の強化を図るため、総務省通達により、平成32年までの策定を求められています。
- ③ 秩父別町簡易水道事業の現況と課題を踏まえ、今後目指すべき方向性と実現可能性の高い施策を整理・抽出し、大まかな事業計画と財政検討を行うものです。

2. 計画期間

経営戦略の計画期間は、2019年（平成31年）から2028年（平成40年）までの10年間とします。

3. 秩父別町水道事業の概要と課題

秩父別町簡易水道事業は、昭和36年に計画給水人口3,300人、計画1日最大給水量506 m^3 /日で、簡易水道として創設されました。

浅井戸を水源としていましたが、水源枯渇により昭和57年には北空知広域水道企業団からの受水により現在に至っています。現在の計画緒元、施設概要は以下のとおりです。

表1 秩父別町水道事業の概要

平成29年度実績

最近認可年月日	計画給水人口(人)	給水区域内人口(人)	現在給水人口(人)	計画一日最大給水量(m^3 /日)	取水箇所	原水の種別
S57.6.23	4,200	2,423	2,378	1,333	1	受水

実績一日最大給水量(m^3 /日)	実績1人1日最大給水量(L/人・日)	実績年間給水量(m^3 /年)	実績年間有収水量(m^3 /年)	有収率(%)	職員数(人)	技術管理者	
						有資格者(人)	専兼任等の別
933	305	265,077	202,321	76.3	1	1	併

秩父別町水道事業の課題を整理すると以下のとおりであり、それらを効率的に解消していくことを目指す必要があります。

- ① 人口減少に伴う料金収入減少による経営への影響
- ② 施設利用率の低下
- ③ 計装設備の老朽化
- ④ 管路施設の老朽化
- ⑤ 老朽化施設の事業費圧縮による計画的更新

4. 秩父別町水道事業の水需要の見通し

秩父別町では、人口減少が続いており、給水人口、有収水量等の実績より、将来の水需要量を予測すると以下のとおりとなります。

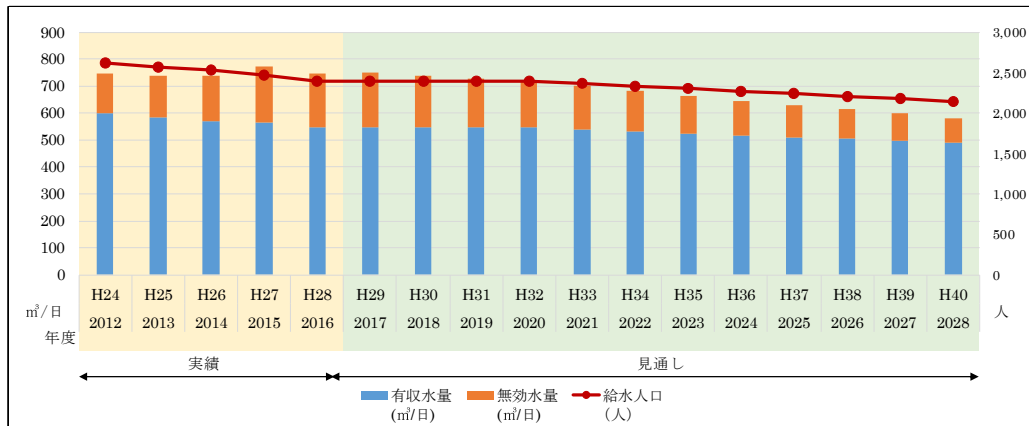


図1 水道事業の現況

5. 秩父別町水道事業の経営比較分析

秩父別町簡易水道事業は簡易水道事業としては法適用となっており、類似団体区分 C3 に分類されます。

「経営比較分析表」より全国および道内の類似団体との比較を行うと以下のとおりです。

① 経常収支比率が100%を下回っており、収支が赤字であることが伺えます。

② 累積欠損金比率が高く、今後の経営改善が必要となっています。

③ 企業債残高対給水収益的収支比率が少なく、更新事業不足が懸念されます。

秩父別町および類似団体との経営比較

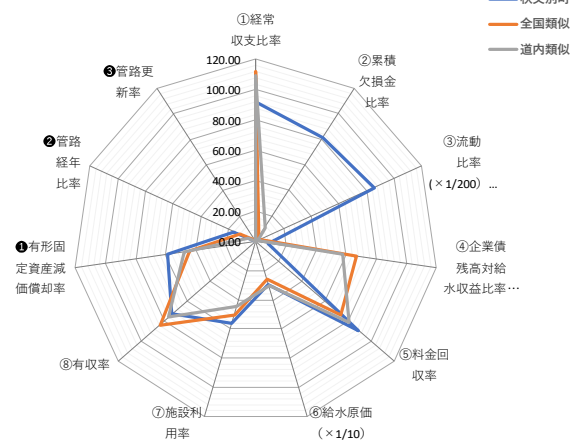


図2 経営比較分析結果

一方、秩父別町に隣接する近隣水道事業体と経営比較すると、以下のとおりです。

① 流動比率が最も高いという特徴を示しています。

② 簡易水道事業体の中では、料金回収率、施設利用率は最も高い傾向を示しています。

表2 近隣水道事業体との経営状況比較

類型 水道事業 簡易水道	給水人口 (人)	1.経営の健全性・効率性								2.老朽化の状況			備考
		※①経常 収支比率 ①収益的 収比率 (%)	②累積 欠損金 比率 (%)	③流動 比率 (%)	④企業債 残高対給 水収益比 率 (%)	⑤料金回 収率 (%)	⑥給水原 価 (円)	⑦施設利 用率 (%)	⑧有収率 (%)	①有形固 定資産減 価償却率 (%)	②管路 経年 化率 (%)	③管路更 新率 (%)	
秩父別町	2,398	92.23	81.67	17073.65	79.20	89.29	296.10	56.05	73.06	58.98	15.91	0.00	C3
北竜町	1,865	88.84	548.08	2518.71	239.66	80.08	344.58	49.74	71.17	60.84	0.00	1.63	C4
妹背牛町	2,532	94.66	—	—	150.91	85.59	425.76	30.17	89.31	—	—	0.00	D3
深川市	20,369	94.18	89.20	211.13	133.88	86.24	327.78	43.09	81.96	60.04	14.42	0.12	A6
沼田町	3,128	95.95	0.00	637.99	73.30	61.60	455.34	25.23	81.82	66.03	15.28	0.33	A9
北空知広域	30,292	105.65	0.00	535.65	126.80	106.41	105.17	39.96	99.86	55.13	0.00	0.00	B

※①経常収支比率は、(秩父別町、北竜町、深川市、沼田町、北空知広域)、①収益的収比率は、(妹背牛町)。

6. 秩父別町水道事業の目標と実現方策

秩父別町水道事業の基本方針は、「新水道ビジョン」に示された「持続」「安全」「強靱」といった諸課題を考慮しつつ、水道サービスの継続により秩父別町を下支えすることを目指しています。

そのための実現方策を「持続」「安全」「強靱」および町民との「協働」に分類し、その実施工程は以下のとおりとなります。

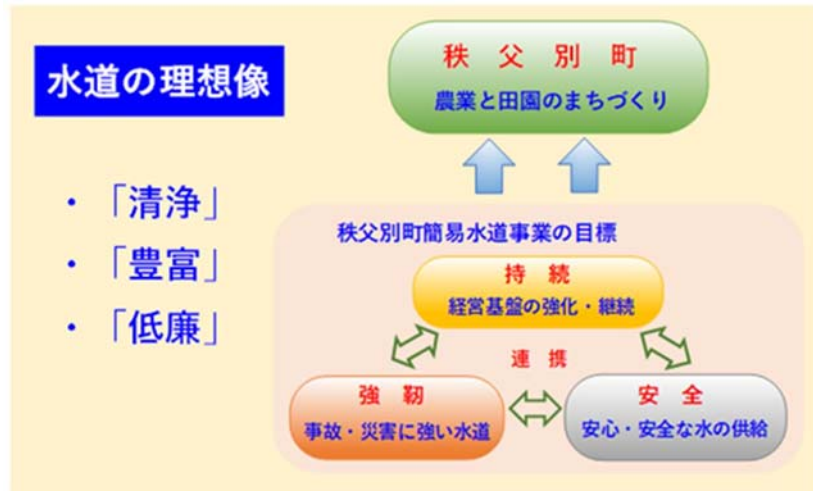


図3 将来像のイメージ

表3 目標設定と実現方策

分類	実現方策			実施工程												
	項目	実施内容	優先度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029以降	
持続	事業運営効率化	施設の見直し縮小・統廃合・委託化	課題													
	効果的整備計画	漏水・事故の解消	優先													
		人口減等を反映した適正な給水区域設定	課題													
	施設の高水準化	水道管路整備事業による老朽管更新	優先													
		水道施設更新整備事業による機器更新	優先													
	情報管理の高度化	管路台帳、監視システムの活用	継続													
設備台帳システムの整備、活用		優先														
経営基盤の強化	料金水準の適正化	継続	北空知広域水道企業団検討													
	資金・財政計画の策定	最優先														
安全	施設管理の適正化	施設管理マニュアルの作成	最優先													
		緊急時給水確保に向けた施設整備検討	課題													
強靱	老朽施設の修繕と更新	計装設備更新	最優先													
		配管網見直しとダウンサイジング	優先													
		配管網のネックポイント解消	優先													
		耐用年数・機能劣化に応じた修繕更新	優先													
	耐震対策等の実施	給水拠点の設定と水の確保	最優先													
		重要給水施設管路の更新耐震化	課題													
災害対策	マニュアル策定	危機管理マニュアルの作成	最優先													
		広域・官民連携による応急体制の確立	課題													
協働	住民ニーズの把握	迅速な対応と顧客満足度の向上	課題													
	積極的な情報開示	広報による情報提供	継続													
		経営戦略等のHP掲載	最優先													

青字：既に実施済みもしくは継続していると思われる方策

黒字：今後10か年で検討もしくは更新投資する方策・事業(最優先、優先に分類)

赤字：将来の課題と思われる方策

7. 今後の財政収支の見通し

(1) 投資について

秩父別町の今後の投資は、既存施設の更新計画に伴う投資が大半を示します。

①構造物及び機械の老朽資産の半数は、計装設備を示すものであり、設定更新基準を23年として2021年（平成33年）から更新します。

②管路設備は、口径100mm以上の配水管の設定更新基準を60年として計画的に更新します。

③設定年数で更新すると投資が集中するため、平準化を行い前倒し先送りによる更新と事業費圧縮を図るため口径75mm以下の配水管は、更新対象外とし修繕で対応することを考えます。

(2) 財源について

今後、給水人口の減少と水需要の減少により、料金収入の減少が見込まれる。財源は今後国庫補助金、料金収入及び企業債により収支均衡を図り、経営健全化を目指します。

なお、2028年度までの収支結果は、表4、図4のとおり収入を支出が上回り収支不足になりますが、内部留保資金を更新費用にかかる財源に活用します。

表4 収入、支出、内部留保資金（千円）

項目	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
収益的収入	58,739	58,997	59,139	58,755	58,127	57,458	57,011	56,313	55,644	55,222	55,127	54,516
料金収入	52,949	52,397	52,660	52,397	51,870	51,080	50,554	49,764	48,974	48,447	47,921	46,867
その他	5,790	6,600	6,479	6,358	6,257	6,378	6,457	6,549	6,670	6,775	7,206	7,649
資本的収入	1,441	0	0	2,100	27,633	22,833	24,366	27,652	22,070	54,470	55,074	55,761
収入計	60,180	58,997	59,139	60,855	85,760	80,291	81,377	83,965	77,714	109,692	110,201	110,277
収益的支出	73,663	67,836	67,613	67,347	67,039	67,229	67,556	67,161	66,821	66,854	67,776	68,545
資本的支出	8,243	2,950	3,018	5,188	30,788	26,061	27,308	30,565	25,789	58,877	60,143	61,355
建設改良費	5,359	0	0	2,100	27,700	22,900	24,500	27,600	21,400	53,300	53,300	53,300
その他	2,884	2,950	3,018	3,088	3,088	3,161	2,808	2,965	4,389	5,577	6,843	8,055
支出計	90,149	73,736	73,649	77,723	128,615	119,351	122,172	128,291	118,399	184,608	188,062	191,255
収支計	-29,969	-14,739	-14,510	-16,868	-42,855	-39,060	-40,795	-44,326	-40,685	-74,916	-77,861	-80,978
内部留保資金	102,815	109,085	115,773	122,394	128,730	134,633	140,665	146,340	150,770	154,319	156,921	158,288

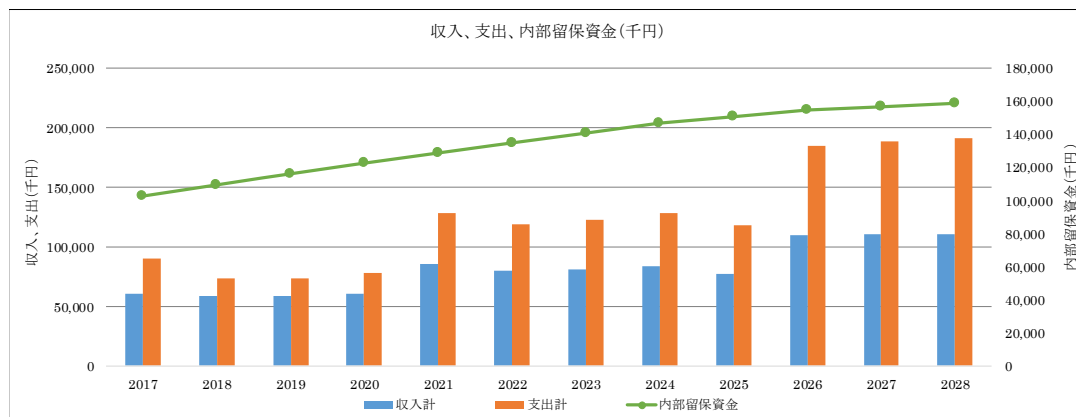


図4 収入、支出、内部留保資金（千円）

8. 「経営戦略」の継続的検証

今後更新事業の進展に伴い、5年毎に人口減少や地域のまちづくり、居住形態の変化に応じながら、P（計画の策定）、D（事業の実施）、C（事業の評価）、A（事業の見直し）サイクルによる事業の見直し・改善を実施し、効率的な更新事業を進めることが必要と考えます。